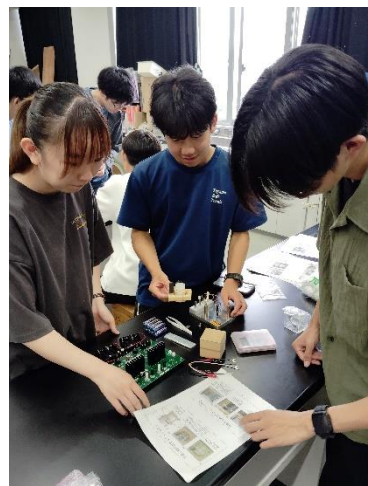


週刊 SSH（6月27日）

国際物理オリンピック(IPhO2023)実験に挑戦

SS物理コースの1、2年生が、物理オリンピックで実際に使用した器具を使って、問題に挑戦しました。2グループに分かれて、実験問題チャレンジPart 1として「キブル天秤法による質量測定」、Part 2として「複屈折を用いて試料の厚さ測定」を行いました。国際物理オリンピック2023 記念協会の早野龍五先生にご指導いただきました。貴重な体験をどうもありがとうございました。



最初、解説を見た時、とても難しそうで、物理の能力がままならない人がこんなもの解けるのかと思いましたが、解説に従って実験を行なっていくと楽しく解くことができました。一問目を解けた時は本当に気持ちよかったです。これから物理を習うこと、オリンピックに挑戦することがとても楽しみになりました。本当にありがとうございました。

とても充実した時間を過ごせました。グループで協力して問題に挑戦できたので楽しかったです。物理オリンピックの面白さも理解できました。今後、物理を楽しく学んでいきたいと思います。

物理オリンピックは名前だけ聞いたことがあって、内容は知らなかったのですが、すごく新鮮でした。実験手順などが詳しくプリントに書いてあったので思ったよりもスムーズに実験を進めることができました。実験することはできましたが、そこから考察したり、計算したりするのが難しく、物理の授業で習った応用みたいな感じで、班のみんなと協力して行えたので楽しかったです。物理オリンピックではこれを一人で行うと聞き、感銘を受けました。早野先生、本日はお忙しい中、本当にありがとうございました！！

